

## 前回(第3回部会)で出た意見とその回答状況

意見	回答
<p>全市共通</p> <p>1. 今回の認可希望定員について、貴市の子ども・子育て支援事業計画に照らして、考え方の整理を行ってほしい。</p> <p>2. 必要に応じて子ども・子育て支援計画の変更を検討いただきたい。</p> <p>3. (1. 2. について)貴市として検討したことを貴市の子ども・子育て会議に諮った上で、県に報告(協議)いただきたい。</p>	<p><b>【津市】</b>  平成29年度当初に予定される、保育所から認定こども園への移行に伴う1号認定子どもに対する定員の増加は、単なる1号認定子どもの定員の増加ではなく、2号認定子どもの保護者の就労状況等の変更による1号認定への変更時の受け皿であり、最小限のものである。  また、津市立幼稚園の休園、民間保育所の閉園等により、当初想定の利用定員に変更が生じた。とりわけ3号認定子どもの確保の方策については、当初の事業計画値に及ばず、保育の不足が生じている。対策としては平成30年度以降に予定する津市立認定こども園の整備等を行い、確保の取組を進めていく予定であることから、現時点において津市子ども・子育て支援事業計画の変更は実施しない。  これらのことについて、平成29年2月9日に開催された第17回津市子ども・子育て会議にて、当初の事業計画と比較した資料を示した上で、津市の状況および取組方法を説明し、委員の了承を得た。  なお、今後の事業計画の見直しについては、平成29年1月27日に示された国の考え方をふまえて検討し、必要があると判断された場合に行うものとする。</p> <p><b>【伊勢市】</b>  今回、認可申請する2施設について、計画人数には沿わないが、需給バランスに影響を及ぼすものではないと考えている。市全体の低年齢児のニーズが高いことにより、伊勢市子ども・子育て支援事業計画において当初予定した量の見込みが実際のニーズと合わなくなってきており、当初予定していた確保策では不足するため、計画の見直しが必要と考え、平成29年1月19日に開催された伊勢市子ども・子育て会議にて協議を行った。</p> <p><b>【鈴鹿市】</b>  平成28年11月29日実施の認定こども園部会において、3園の移行について特に意見はなかった。  鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画の見直しについては、複数の施設が幼保連携型認定こども園への移行を検討していること、1歳児の需要が当初の想定以上に大きくなっていることなど、「量の見込み」が計画当初と大きく変わってきていることから、鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画の中間年にあたる平成29年度に計画を見直すつもりであり、平成29年2月13日に行われた鈴鹿市の子ども・子育て会議にもその旨、説明を行った。</p> <p><b>【伊賀市】</b>  伊賀市全域の幼稚園の入園状況、当該施設が所在する青山およびその周辺地域の保育所との状況等を勘案した結果、当該施設の移行は適切なものとしている。  伊賀市子ども・子育て支援事業計画の目標値等の見直しについては、計画策定後に実施してきた保育所の統廃合や今後の再編計画、利用定員の見直しなどを勘案しつつ、平成29年度以降に整理を行うこととし、来る3月14日開催の少子化対策推進委員会へ提案する予定。</p>
<p>伊勢市のみ</p> <p>4. ゆたか幼稚園(ゆたかこども園)について、0歳児の定員が0名となっているが、認定こども園として0歳児は受け入れない方向で市と施設側で協議が成立しているのか、計画上も問題はないか。</p> <p>5. ゆたか幼稚園は現在、縦割り保育を実施しているようだが、ゆたかこども園となったのち、1、2歳児も縦割り保育に参加するのか。</p>	<p><b>【伊勢市】</b>  施設側の意向により0歳児は受け入れないことで市と施設側で協議が成立しているが、市としては0歳児のニーズが高くなっていることから、今後の新たな0歳児の受入れについて検討していただくようお願いをしていきたい。  3歳以上児については縦割り保育を実施するが、1、2歳児については、縦割り保育は実施せず、発達段階に応じた保育を行う。</p>